

# 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば (認定NPO 法人)

## 2019 年度事業報告書

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

### 1. 事業の成果

学校や家庭・地域の中に居場所を見出せない子どもや若者及びその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる居場所をつくり、学校外での多様な学びや育ち・生き方を支援し、自己肯定感を取り戻す人間関係を育む環境と文化を創造することを目的として、活動を行なった。

今年度は、神奈川県教育委員会から高校教員(国語科)を一年間の NPO 派遣研修として受け入れ、フリースペースえん(夢パーク)での活動を中心に、よつばの会(学習支援居場所づくり事業)も担ってもらった。

フリースペースえんの登録者の増加にともない行政関係部局、関係機関と協議を重ねてきた結果、フリースペースえんの 2 階部分「屋根裏スペース」に部屋の増改築(2020 年秋完成予定)が決定した。平日の日中は、フリースペースえんが中心的に使い、それ以外の夜間及び土日祝日は夢パーク一般来場者も使用が可能となる。それに先んじて、今年度よりフリースペースえんのスタッフ 2 名分の予算が加配された。

昨年度まで、よつばの会(学習支援居場所づくり事業)は生活保護世帯の中学生が対象とされていたが、2019 年 6 月より一人親世帯の中学生も対象となり、無料での学習支援が必要な子どもたちへの支援の充実を図れた。

2017 年度より実施している「かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業負担金対象事業」の最終年として、「かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク」の幹事団体及び川崎担当事務局を担った。この事業は、神奈川県全域の様々な生活困窮者支援を行なっている団体を簡単に検索ができるホームページ「かながわ応援サイト」の作成・管理・運営などの他、講演会等を企画し、行政関係者及び広く市民に向けて広報・啓発を行なった。また、川崎市内の「かわさき生活困窮者自立支援ネットワーク」の立ちあげにも参画した。

JR 南武線久地駅より徒歩 2 分のフジビル 101(「工房たまりば」と同じスペース)内で、「オーガニックカフェたまりばーる」を金山氏(元会員保護者)が運営してきたが、2020 年 1 月をもって、カフェは閉店となった。そこで、カフェスペースも含めあらためて当法人が全体を管理・運営していくこととなり、リニューアルに向けて 2 月～3 月を今後の使い方の検討期間とした。

理事長 西野博之が長年にわたる不登校児童・生徒や高校を中退した若者の居場所づくりに取り組み、その支援にあたってきたことと、「川崎市子どもの権利に関する条例」の策定に関わり、条例を基に作られた「川崎市子ども夢パーク」の所長を務めるなど、子どもの権利や居場所の大切さを川崎から全国へ発信してきた功績に対し、川崎市より「社会功労賞」が授与された。

もっと活動の様子や、理念を発信していくためにホームページを新しくするにあたって、パソコンの得意な子どもと一緒にどのようにつくり変えると見やすいか、検討を行なった。それを元にして 2020 年度は長年の課題であったホームページのリニューアルが予定されている。SNS の利用者も多いため、たまりばの公式 Facebook を 2020 年 3 月に開設し、ホームページと Facebook を活用してリアルタイムでフリースペースえんの活動の様子を発信し、また寄付をネットからできるサイト(シンカブル)に登録し、スマートホンなどからも気軽に寄付を集められる環境を整えた。

年度末には、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大勢の人が集まるイベントや会議等は中止とし、その上で所管局等と協議を重ね、子ども・若者の居場所の重要性から、検温、手洗い、うがい、アルコール消毒、こまめな換気等さらなる感染拡大の防止に気をつけながら、子ども夢パーク、フリースペースえん、ブリュッकेの開設を続けることとした。そして、非常時における「子どもの居場所の確保」の重要性を発信することに努めた。

## 2. 事業内容

居場所（活動拠点）・事業

A) 川崎市子ども夢パーク	} 指定管理施設	指定管理料（分担金）：51,978,100円
B) フリースペースえん		
C) 川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」（川崎市生活保護受給世帯等若者就労自立支援事業）		委託費：25,250,000円
D) 「よつばの会」（川崎市学習支援居場所づくり事業）		委託費：5,631,000円
E) 「ふれあい心の友」（川崎市ひきこもり等児童福祉対策事業）		委託費：6,282,860円
F) かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク [川崎事務局] （かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業）		補助金：1,753,551円

### (1) 誰もが安心して過ごせる居場所の開設と運営

#### < A) 川崎市子ども夢パークの管理・運営 >

- ・内容：（公財）川崎市生涯学習財団と「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」を結成し、指定管理者として川崎市子ども夢パーク（以下 夢パーク）の管理・運営業務を行ない、理事長 西野博之 が夢パーク所長を務めた。副所長二人体制でより安全な施設管理、運営体制を実現した。

夢パークは、「川崎市子どもの権利に関する条例」の具現化を図ることを目的として川崎市によって設置され、子どもの活動拠点、プレーパーク、不登校支援、乳幼児・子育て支援、多文化共生、世代間交流等、多機能が備わった子どもたちの総合的な居場所である。これらの実現を目指して、以下の3つを事業の柱として、管理・運営を行なった。

#### < 夢パークの3本柱 >

- 「子どもの活動拠点」…子どもが自由に安心して集い、自主的及び自発的に活動する拠点
- 「プレーパーク」…土や水、火や木材などの自然の素材や道具や工具を使い、子どもたちの遊び心によって自由につくりかえられる遊び場
- 「フリースペースえん」…主に学校の中に居場所を見出せない子どもや若者たちが、学校外で多様に育ち・学ぶ場

#### < 子どもが自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける居場所 >

夢パークでは「子どもが自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける居場所」であることを目指して整備してきた。子どものいのちを真ん中におき、一人ひとりの自己肯定感を育む環境づくりに力を入れている。子どもが安心して、ありのままの自分でいられることを尊重し、自分の中から湧き出る「やってみよう」を大切にしたいと考えている。そして、できるだけ禁止事項をつくらず、子どもの発想で自由に遊び、自分の力の限界に挑戦し、それができたときの達成感を通して自信を育むとともに、安心して失敗できる環境づくりに力を注いだ。ここでは子どもの「参加」を大切にし、運営や遊具の製作・設置・撤去、イベントの開催などに子どもの意見を聴き、子どもたちが自主的・自発的に活動する拠点づくりをめざした。

- 使いながらつくり続けていく場
- 子どもの自由な遊び、活動がどんどんふくらむ場
- 子どもが自由に安心して居られる場
- 学校以外での育ち、学ぶ場
- 川崎市の子どもネットワークの拠点となる場
- 子どもたちが自分たちで動かしていく場

- ・開設日時（夢パーク）

2019年4月1日～2020年3月31日

通年（毎月第3火曜日の施設点検日、臨時施設点検日、年末年始を除く） 9:00～21:00

- ・場所：神奈川県川崎市高津区下作延 5-30-1 川崎市子ども夢パーク
- ・総利用者数：88,963人

### < B) 不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」の運営 >

- ・内容：川崎市子ども夢パーク内において、学校や家庭・地域の中に居場所を見出せない子どもや若者が安心して過ごせる居場所づくりを行なった。今年度の特徴としては、小学生の登録者が急増していることがあげられる。

#### ○ 自分で決めるプログラム

決められたカリキュラムはなく、子どもたち一人ひとりが、自分でその日をどのように過ごすかプログラムづくりを決定し一日の活動を行なった。“この指とまれ”方式で、自主企画をたて、仲間を集めて一緒に活動した。

#### ○ 昼食づくり

フードバンクやえんめし自主サークル「あたたかいごはんを食べる会」と連携し、「自分たちで一緒に作って食べる」を大切に、子どもや若者を中心にスタッフやボランティアがサポートしながら、毎日メニューを決め、買い物・野菜の収穫・調理・配膳・片付けなど、毎日30～40人分の昼食づくりを行なった。（1食250円）

- ・開設日時（フリースペースえん）

2019年4月5日～2020年3月19日

月曜日～金曜日 10:30～18:00 祝日は休み（ただし、火曜日は10:30～14:00）

開設日：195日

特別活動日：32日（自然野外体験、合宿、イベントなど <別紙参照>）

- ・場所：神奈川県川崎市高津区下作延 5-30-1 川崎市子ども夢パーク内
- ・対象者：登録制  
登録者（2020.3.31現在）

	男	女	計
小学生	32	22	54
中学生	22	11	33
高校生年齢	18	14	32
18才以上	26	12	38
計	98	59	157

### < C) 川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」(以下ブリュッケ)の開設・運営 >

- ・内容：川崎市内で生活保護受給世帯等の15歳～29歳で、社会的ひきこもり状態にある若者たちに対し、居場所の提供を中心とした生活支援を行なった。また中小企業同友会などとも連携して、若者一人ひとりの個性とスキルに応じた就労支援を行なった。ひきこもり状態にあった若者たちが、居場所で「人」と出会い・つながり、つながった仲間たちと様々な「体験」を積み、少しずつ居場所から「地域」へとつながり、その先の就労を含めた自分の生き方を見つけていけるような寄り添い型の支援に努めた。また、そのような支援が地域の中で継続的に展開できるよう環境整備にも注力した。さらに、

福祉事務所のケースワーカーを対象とした相談支援にも取り組んだ。

○共食タイム

開設日には、毎日スタッフと若者で協力し、調理、配膳（準備）、食事、片付けまでを行う「共食タイム」を年間を通して実施した。ブリュックは単身者も増えていて、「一日一食、コンビニ弁当」「料理はしない」「月末には食べ物を買うお金がない」等の食生活が不安定な若者たちが多く、ブリュックで安価に栄養のある食事づくりを行なった。（実費 250 円）

○フリータイム

「ミーティング」「共食タイム」「グループワーク」以外は、「フリータイム」の時間とし、スタッフや利用者同士で話したり、作業をしたり、パソコンやゲームをしたり、読書をしたり、外でキャッチボールをしたり、スタッフと買い物に行ったりなど、それぞれが過ごしたいように過ごす時間とした。

・開設日時

2019年4月1日～2020年3月31日

月曜日～金曜日 9：30～18：00 （居場所の開設：月・水・金曜日 10：30～17：00）

【開設時間例】

月・水・金曜日：AM 昼食づくり、フリータイム、来所メンバーによるミーティング  
共食タイム（「おいしい・うれしい・たのしい」をみんなで！）  
PM グループワーク、フリータイム

火・木曜日：アウトリーチを含む予約制の生活・就労相談日、新規ケースの面接・見学日、福祉事務所ケースワーカー（以下 CW）への事業説明及び相談、CW とのケース打合せ、行政関係機関とのケースカンファレンス、連携・調整会議

・場所：神奈川県川崎市高津区内

・対象者：登録制

年間登録者数 56名（2020.3.31 現在）

支援類型別相談支援者内訳	人数
居場所支援	21
就労支援（居場所支援と重複が10名）	24
アウトリーチ支援	7
その他（CW への相談援助・定着支援・関係機関との連携ケース等）	14

< D) 「よつばの会」(川崎市学習支援居場所づくり事業) の開催 >

・内容：高津区を中心とした川崎市内の生活保護世帯、及び一人親世帯（6月開始）の中学生に対して、学習支援・居場所づくりを行なった。個別の理解度や苦手分野に合わせた個別学習を中心に行ない、学習以外にもサポーターや来ているメンバー同士の交流会を開いた。夏期や高校入試直前には、希望者に対し集中講座・無料の模擬試験を実施した。また、高校進学後も、いつでも相談や自習に来れるように受け入れ態勢を整えた。

・開設日時

2019年4月1日～2020年3月31日

週2日（月曜日・木曜日）18：30～20：30 祝日は休み

開催回数：90回（夏期や高校入試前の集中講座を含む）

・開設場所：川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

・対象者：登録制

登録者（2020.3.31 現在）

	男		女		
	生活保護	一人親	生活保護	一人親	
1年生	1	2	4	0	7
2年生	2	1	0	1	4
3年生	4	0	4	1	9
計	7	3	8	2	20

### < E) 「ふれあい心の友」(川崎市ひきこもり等児童福祉対策事業) の実施 >

- ・内容：川崎市内の児童相談所と関わりのある不登校・ひきこもり傾向にある児童・生徒が、主に大学生が登録している「ふれあい心の友」と児童相談所内で交流し、自主性や社会性の伸長を図ることを目的としている。この事業のうち、フリースペースたまりばは、「ふれあい心の友」登録者と対象となる児童・生徒が一对一で学習をしたり話をしたりする個別活動支援のうち、「ふれあい心の友」の募集・研修・派遣を担当した。また、児童相談所に通ってくる複数名の児童・生徒と一緒にゲームをしたり料理をしたりする集団活動支援のうち、活動内容の企画立案・準備・運営を担当した。

#### ・実施日時

2019年4月1日～2020年3月31日

実施回数：個別活動支援 300回

集団活動支援 24回

研修 12回

- ・場所：川崎市こども家庭センター、川崎市中部児童相談所、川崎市北部児童相談所
- ・対象者：川崎市児童相談所と関わりのある18歳未満の児童・生徒

2019年度利用者数（延べ人数）

	こども家庭センター	中部児童相談所	北部児童相談所	計
個別活動支援	144	59	97	300
集団活動支援	47	14	31	92

## (2)不登校・引きこもりなどで悩む本人や家族等の相談・援助活動

### ①来所相談

- ・内容：不登校、ひきこもり、非行、いじめ、生活上の問題等で悩む本人や家族等の電話相談、事前予約による来所相談を行なった。また「ブリュッケ」では、市内福祉事務所CWとの連携を重視し、複合的な課題を持つ家族への対応も含めたCWの相談やスーパーバイズなど、「CWへの支援」も積極的に行なった。（無料）
- ・相談受付時間：（えん）原則 月曜日～金曜日 10：30～18：00（祝日は休み）  
（ブリュッケ）原則 月曜日～金曜日 10：30～17：00（祝日は休み）
- ・相談場所：フリースペースえん、ブリュッケ（アウトリーチ及び来所面接は予約制） 他

## ②派遣・アウトリーチ相談

- ・内容：「ふれあい心の友」事業では、ふれあい心の友に登録している学生を児童相談所内に派遣し、不登校・ひきこもり傾向にある児童・生徒の相談・援助活動を行なった。また「ブリュッケ」では、福祉事務所までなら来所できる若者に対し、福祉事務所内等でアウトリーチ相談を行なった。
- ・相談時間：児童相談所や福祉事務所と調整
- ・相談場所：児童相談所（登録制）、福祉事務所（登録制） 他

## ③本人や保護者の相談

### ○20才以上の若者たちの会を開催

- ・内容：20才以上の人たちが、食べたり飲んだりしながら語り合う会「えん会」を開催した。
- ・日時：毎奇数月（※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止）
- ・場所：オーガニックカフェ「たまりばーる」 他
- ・対象者：20才以上の若者（フリースペースたまりば会員）（延べ37人参加）

### ○保護者とスタッフの語り合う会

- ・内容：保護者との関わりを大事にするために、また保護者同士がつながってお互いに話ができる様にその時々保護者の困りごとや子どもの様子などを話しあう保護者会を開催した。
- ・日時：毎偶数月
- ・場所：フリースペースえん
- ・対象者：フリースペースえんに登録している子どもの保護者（延べ185人参加）

### ○不登校の親の会

- ・内容：今年度より、主としてえんの説明会申し込みに入ることができなかつた不登校・ひきこもり傾向の子どもや若者をもつ保護者を対象にそれぞれの抱える悩みを語り合い、「不登校のとらえ方」「子どもの受けとめ方」などを手に入れる会を開催した。
- ・日時：毎奇数月（原則）
- ・場所：夢パーク内多目的室
- ・対象者：思春期の子どもや若者をもつ保護者（延べ21人参加）

## (3)フリースペースの利用者による自主企画・活動の支援

### < A) 川崎市子ども夢パーク >

#### ①プレーパーク

子どもの「やってみよう」という気持ちを大切に、遊びを制限するような禁止事項をできるかぎりつくらず、子どもが考え、自分で決めて、実行するプロセスを大事にした。自分の力の限界に挑戦することを通じ、「やったー」「できた」と達成感を手に入れると同時に、安心して失敗できる環境づくりに努めた。自由な発想で自由に遊べる環境を大切にしたい。

#### ②3大イベント

- ・夢パまつり：夢パークの周年行事として、多くの人達に水遊び、泥遊びの楽しさを知ってもらえるよう、この日だけの遊具や水遊びエリアを設けた。
- ・こどもゆめ横丁：「子どもが本気になれる機会をつくりたい！」という思いから、廃材を使ってお店づくり・商品づくりから当日の営業・片付けまで、すべてを子どもたち自身が行った。27店舗100人参加。  
今年度は、「横丁に出店する以外の形で参加したい」「もっと盛り上げたい」など子どもたちの声から『横丁を楽しくしよう会(YTK)』が発足。話し合いを重ね、子どもたちによる保護者向けの説明会での意見発表、お店の建設などへの相談・

協力など、子ども参画が一步進む形になった。

横丁を楽しくしよう会参加者：延べ47人

- ・新春イベント：日本の伝統文化や風習を体験できると同時に、地域交流や世代間交流の場になるように餅つき体験、どんど焼き、紅白団子づくり、書き初めなどを行なった。

### ③ライブイベント

子どもたちが日ごろの音楽活動の成果を発表できる自己実現の場、中高生(利用者)のバンド等音楽をやっている者同士の情報交換や共有の場とした。事前の顔合わせや話し合い、チラシ・パンフの作成、前日・当日の会場設営や機材搬入・搬出などの準備・片付けも、すべて出演者たち自身で行なえるよう支援した。「KUJI ROCK (クジロック)」や「ゆる ROCK」(アコースティックライブ)を年3回開催した。(※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止)

## < B) フリースペースえん >

### ①ミーティング

- ・内容：安心して過ごせる居場所を自分たちの力で整えていくために、誰もが言いたいことを言える環境づくりに力を注いだ。

○お茶会ミーティング(毎月1回) ○ショートミーティング(毎週月曜日) ○その他(随時)

### ②自然体験合宿

- ・内容：豊かな自然の中で寝食を共にし、子どもたちがプログラムやルールを自分たちで決めながら様々な活動を行なう合宿を年2回開催した。

#### ○八丈島キャンプ

- ・日時：2019年7月28日(日)～8月2日(金) 5泊6日
- ・場所：八丈島底土キャンプ場
- ・参加人数：49名

#### ○木島平スキー合宿

- ・日時：2020年1月29日(水)～1月31日(金) 2泊3日
- ・場所：木島平スキー場(長野県)
- ・参加人数：36名

### ③たまりばフェスティバル2019 <sup>こせい</sup>個性のか<sup>ぼくはつ</sup>たまり爆発ばーん <中止>

- ・内容：講座や自主企画など一年間を通して行なってきた活動の発表の場として、フェスティバルを開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止とした。子どもたちが「プロジェクトX(フェスティバル実行委員会)」を立ち上げ、中心となって仲間を集め、広報、プログラム・パンフレットづくりなど、その他の企画・運営を行ない、直前までイベントに向けて準備をしていた。反省会では、準備等の次年度へ向けた振り返りを行なった。
- ・開催予定日：2020年3月7日(土)14:00～17:30(開場13:30)
- ・場所：川崎市男女共同参画センター すくらむ21

### ④自主企画「この指とまれ」(講座・自然観察・野外体験・イベント等)

- ・内容：講座や企画は子どもたちが「こんなことやりたい!」という思いをミーティング等で呼びかけし、仲間を募って実現していった。<詳細は別紙1参照>

#### ○連続講座 15講座

月1回程度、ものづくりや民族音楽(南米・アフリカ)やダンス、演劇、歌、アート、藍染めなどの表現講座、お菓子づくりやイタリアンパスタ講座などを開催した。

#### ○単発企画 24回

ミーティングなどで子どもたちが提案し、主体的な話し合いによって決定した自主企画や各種イベント等に参加した。

#### ⑤個別学習支援および進路相談

- ・内容：さまざまな発達段階にある児童・生徒に対する個別またはグループでの学習支援および進路相談を行なった。
- ・日時：随時
- ・場所：フリースペースえん、川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

### < C) ブリュッケ >

#### ①居場所支援

##### ○ミーティング

開設日には、その日来所したメンバーが集まり、一人一人の「その日の体調」や「最近困っていること」、「今日、みんなで話をしたいこと」などを語り・聴く「ミーティング」を年間を通して実施した。

##### ○グループワーク

居場所開設日の午後には、若者とスタッフで一緒に行う「グループワーク」を年間を通して実施した。プログラムについては、毎月若者とスタッフとで企画会議を開催し、若者たちの興味・関心のあることを企画化し、一カ月の予定を作成した。<詳細は別紙2参照>

##### ○個別相談

居場所開設時にも必要に応じて適宜スタッフと個別相談できる環境を整えた。若者たちの中には、「家族問題」や「今までの失敗体験」などが原因で動けなくなっていた者も少なくない。本人だけでは抱えきれなくなっている状況を脱するためにも、安心して話せるスタッフに「不安」を語り、背負っているものを降ろしていく中で課題整理をしていく作業は大事であった。

#### ②アウトリーチ支援

「電車など乗り物にのれない」「集団の中は緊張して居られない」「他人とコミュニケーションを取るのが難しい」などの不安はあるが、福祉事務所までなら来所できる若者に対し、福祉事務所での定期的な面接や、事務所周辺を散歩したり、図書館に行ったりなど、ゆるやかな人間関係を構築するところからアプローチするなどの支援を実施した。

#### ③就労支援

##### ○就労支援の基本

ブリュッケの就労支援には、『居場所での成長を通して、社会的自立・就労に繋げる』・『アウトリーチ支援により、社会的自立・就労に繋げる』の2つのタイプがあり、どちらの支援も「就労支援を通じて、企業・地域とつながり～企業・地域と連携して、本人の自立・就労をサポートする」という視点を重視して行なった。若者が本来持っている能力を引き出すこと、自主性を尊重することを基本に、個別のニーズに応じたオーダーメイドのプログラムを作成し、寄り添い型の支援・「人と人を繋ぐ」支援を実施した。

##### ○居場所から就労をめざす若者への支援の取り組み

居場所に通う若者には、居場所での活動による本人の一步一步の歩みと自主性を尊重し、一人ひとりの状況に応じた段階的・的確な就労支援を行なった。ブリュッケの具体例としては、若者たちが居場所に通うことによって心身ともに安定した日々を過ごすようになり、活動の中で少しずつ意欲を取り戻すことで本人の興味・関心が表現されてくる時期がある。その時期に本

人たちから「自分ができるような仕事があればやってみたい」という話をしてくるケースが多い。そのタイミングで、自立・就労支援員による本人の就労に関する興味・関心の聴き取り、企業開拓、連携企業の職場体験・見学、企業と本人のマッチング等、就労に向けた取り組みが段階的に展開されていった。

#### ○アウトリーチによる若者への就労支援

アウトリーチで出会う就労希望の若者に関しては、就労支援の全過程（希望職種の選択、求人情報の収集、応募先の選定、履歴書・職務経歴書づくり、面接準備、就労、定着）を本人の働くことへの自覚をつくる過程と捉え、本人の就労とともに社会の中で自立していく力をつける大切な期間として寄り添い型の支援を行なっていった。また、正社員を希望する若者に関しては、「職務経歴書づくり」は特別に重要であり、この作成過程を通じて自分の人生と向き合う機会とした。まだ「何をしたいのかわからない」という若者たちには、「職場見学・職場体験」「お試し就労」など、就労に繋がる支援も定期的に行った。その他にも、資格所得・職業訓練等、スキルアップに向けた支援も行った。若者の職業スキルや社会スキルを向上させるために、ハローワークの職業訓練や受入れ可能な企業・NPO と連携し、職場実習やスキルアップ訓練、各種資格取得に取り組んだ。

#### ○地域の経営者との信頼関係を構築

～「哲学のある経営者」との連携～

ブリュッケを受託後、川崎北税務署「間税会」、神奈川県中小企業家同友会（以下「同友会」）、川崎市商工会議所などの経営者団体及び地元の企業経営者・商店主との交流、連携を継続的に深めてきた。出会った経営者の中には、素晴らしい“経営理念”を掲げ、人材の育成にあたって、ダイバーシティ（性別、人種、障害、年齢、学歴、価値観などの多様性を受入れ、広く人材を活用することで企業改革、生産性の向上に役立てる）の考えを取り入れ、特に「同友会」に関しては、企業理念に「第1に、自社の存在意義を改めて問いなおすとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる企業。第2に、社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業」と謳い実践され、ブリュッケの若者を受け入れてくれている企業も生まれている。

#### 【2019年度就労決定者12名の勤務形態内訳】

正社員	パート：週4～5日	パート：週1～3日
1名	6名	5名

#### 【就労支援希望者21名の活動状況内訳】

職業体験	職場見学	就労体験
5名	13名	3人

#### ④川崎市内福祉事務所の職員（ケースワーカー）への支援

市内9カ所ある福祉事務所をまわり、各福祉事務所のケースワーカー（CW）を対象とした「相談・交流会」を実施した。ブリュッケの事業説明を行った後、CWが対応に困っているケースについて一緒に考える機会を設けた。また、ひきこもっている若者と家庭訪問時でも出会えず、対応に困っているケースの対策として、CW対象の個別面接相談やスーパーバイズなどを随時行い、「CWへの支援」を積極的に取り組んだ。

### <「工房たまりば」の運営>

- ・内容：手づくりの藍染め製品を中心に、つながりのある地域作業所や関係団体の品物を展示・販売した。同じスペース内にオーガニックカフェ「たまりばーる」を設け、その運営は保護者でもある金山悦子氏が担った。金山氏のご家庭の都合により、2020年1月26日をもって「たまりばーる」は閉店となった。保護者や今まで「たまりばーる」で講座などを開いていたメンバーなどが集まり、今後の場所の使い方について話し合いを行なった。
- ・開設日時：水～日曜日 10：30～21：00
- ・場所：神奈川県川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル 101

## (4)保護者・教育関係者・学生・市民の学習と交流の機会及び情報の提供・発信活動

### <広報・啓発活動>

#### ①通信の発行

- ・内容：毎月のカレンダー、活動報告、お知らせ等を掲載した定期情報紙『楽えんだより かわら版』（毎月）と『たまりば通信』（年4回）や、一年間の活動の様子や会員の寄稿を掲載した冊子『楽えんだよりDX』（年1回）を制作、発行した。

#### ②ホームページ・Facebookの開設と運営

- ・内容：活動の予定や報告などをホームページで公開し、たまりば会員だけではなく一般の人への広報の場とした。

URL <http://www.tamariba.org>

#### ③フリースペース活動説明会

- ・内容：不登校・ひきこもりに関する理解を促進し、「フリースペースえん」や「川崎市子ども夢パーク」の活動をより身近に感じ、知ってもらうために「フリースペースって、どんなところ？」を開催した。
- ・日時：毎偶数月
- ・対象者：不登校児童・生徒の保護者、ひきこもりの当事者、支援機関、学校関係者、研究者、学生等（延べ160人参加）

#### ④講演活動・スタッフ派遣および視察・見学等の受け入れ

- ・不登校・ひきこもりはもとより、子どもや若者たちの学校外での多様な生き方や学び方への理解を深めるために、また居場所のあり方、子どもの権利、遊び、子育てなどをテーマに、市民、教育関係者、行政職員、NPO関係者、学生などを対象に幅広く講演活動を行なった。
- ・一年間を通して、各地から川崎市子ども夢パーク及びフリースペースえん等への視察・見学を177件受け入れた。今年度も諸外国（ドイツ、韓国、香港）で子どもと関わる仕事をしている方々などの視察を受け入れた。
- ・実際の現場を見てみたい福祉事務所のCWに向けて、ブリュッケを会場に「ブリュッケ見学・意見交換会」を年2回開催した。第1部ではブリュッケの活動をパワーポイントで紹介し、第2部ではブリュッケスタッフとケースワーカーとの意見交換会を行った。
- ・川崎市9福祉事務所のケースワーカー（CW）を対象にした「CW相談・交流会」を年4回開催した。事業説明だけでなく、実際にCWが対応に悩んでいるケースを相談できる環境を作り、一緒に考える機会とした。（延べ41人参加）
- ・自立支援室との共催で、年10回「CW研修会」を実施した。西野理事長が年2回務めた研修会「不登校・ひきこもりの理解と対応」には延べ60人のCWが参加した。長谷川理事が年8回務めた「CW

の知識とスキルに関する連続講座」には延べ145人のCWが参加した

- ・川崎市内の児童相談所（3カ所）で行なう研修の中で、ふれあい心の友の活動を中心にフリースペースたまりばの各事業について、事業紹介を行なった。
- ・遊び場づくりなどを行っている団体へスタッフ派遣をし、子どもの遊び環境の充実を図った。

#### ⑤取材・メディアの取材や協力を通じた広報・啓発活動

- ・不登校・ひきこもりはもとより、子どもや若者たちの学校外での多様な生き方や学び方、居場所のあり方、子どもの権利、遊び、子育てなどについての理解促進をテレビ・新聞・雑誌等メディアへの取材や協力を通して、広報・啓発活動を行なった。＜詳細は別紙3参照＞
- ・夢パーク・フリースペースえんの舞台にした居場所や遊びをテーマの映画『(仮)居場所のちから』(2021年公開予定)への企画・撮影協力を行ない、映画を通して「豊かな場が持つ力やその在り方」「人と人との繋がりが持つ力」を社会へ発信していく。

#### ⑥講演会の開催

- 『私が私であるために、あなたがあなたであるために（保護者のためのバウンダリー講座）』の開催  
＜夢パーク自主事業＞
  - ・内容：「安心・安全な空間と関係をつくる境界」「気持ちと考えをお互いに尊重できる境界」「自律と自立を育む境界」など、バウンダリー（境界）について、保護者や市内外の居場所に関わる人などを対象に、講座『わたしとあなたを“たいせつ”にできる「境界」』を3日開催した。
  - ・講師：長谷川俊雄氏（白梅学園大学子ども学部教授）
  - ・会場：川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
  - ・日時：2019年10月6日、11月10日、12月15日
  - ・参加人数：延べ86名
- 「みんなで語ろう『子どもの権利』」を開催 ＜かわさき子どもの権利の日のつどい事業＞
  - ・内容：私たちが普段過ごしている川崎市子ども夢パーク及びフリースペースえんは「川崎市子ども権利条例」の具現化を目指してつくられた。子どもの権利条例の策定に携わった山田雅太氏と喜多明人氏を招き、子どもたちと一緒に“子どもの権利”について考える会を開催した。
  - ・講師：山田雅太氏（かわさき子ども権利フォーラム代表）、喜多明人氏（早稲田大学教授）
  - ・会場：フリースペースえん
  - ・日時：2019年11月18日
  - ・参加人数：73名

#### <各種会議やネットワークへの参画・連携>

##### ⑦神奈川県学校・フリースクール等連携協議会（事務局：神奈川県教育委員会）への参加

神奈川県内で不登校児童・生徒のための居場所づくりをすすめるフリースクールやフリースペースと学校や教育関係機関との連携・協働を推進することを目的に発足した神奈川県学校・フリースクール等連携協議会の企画委員会委員として参加。不登校相談会・進路情報説明会などを行政と協力して開催した。

##### ⑧川崎市不登校対策連携会議（事務局：川崎市総合教育センター）への参加

川崎市教育委員会、総合教育センター、児童相談所、精神保健福祉センター、県警少年相談・保護センター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、相談指導学級・家庭訪問相談員、民間NPOなどが集まって、市内の不登校児童生徒の現状を把握し、支援のあり方を協議する川崎市不登校対策連携会議に委員として参加。

⑨文部科学省「フリースクール等に関する検討会議」「不登校に関する調査研究協力者会議」との合同会議への参加

フリースクール等で学ぶ子どもたちの現状を踏まえて、学校外での学習の制度上の位置づけや、子どもたちへの支援策の在り方について検討するフリースクール等に関する検討会議に委員として参加。

⑩その他の行政等との協働および各種委員会等への参加

「高津区子ども・子育てネットワーク会議」委員長、「高津区要保護児童対策地域協議会」、「高津区生涯学習推進会議」、「川崎市発達障害者支援地域連絡調整会議（川崎市健康福祉局）」、「川崎市社会教育委員会議青少年教育施設専門部会（こども未来局青少年支援室）」、神奈川県青少年問題協議会（神奈川県福祉子どもみらい局みらい部青少年課）、などに委員として参加。その他「高津区ボランティア・当事者連絡会」へ参加。

⑪地域との連携およびイベント等の実行委員会への参加

下作延第一町内会意見交換会、雑居まつり実行委員会（世田谷）、神奈川県フリースクール・フリースペース・フェスタ実行委員会、かわさき子どもの権利の日事業部会。

⑫民間団体との連携

市民や企業から寄付を集め、県内の子ども・若者や子育てにかかわる NPO へ助成する仕組みづくりを行なう「認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンド」に、理事として参画。さらに、設立準備の段階から関わってきた「かわさきチャイルドライン」（子ども専用電話）の運営委員を務めた（ともに理事長 西野）。その他、「日本冒険遊び場づくり協会」「子ども虐待防止『オレンジリボンたすきリレー』」「かわさき子ども権利フォーラム」「フードバンクかながわ」「川崎子ども食堂ネットワーク」等と連携・協力。

### <研修・実習等の受け入れ>

フリースペースえん及び川崎市子ども夢パークにおいてボランティアや職員、学生等の体験研修・実習を受け入れた。（神奈川県青少年サポート課主催 学生ボランティア体験講座の受講生、東京慈恵会医科大学地域子育て支援体験実習、田園調布学園大学スクールソーシャルワーク実習、白梅学園大学子ども学部体験実習、横浜桐蔭大学サービスラーニング実習、日本女子大学社会福祉学科フィールドワーク、神奈川大学社会教育実習、恵泉女学園大学サービスラーニング実習など）

### <かながわ生活困窮者自立支援ネットワークへの参画 >

#### F) かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク（幹事団体及び川崎地域事務局）

- ・内容：昨年度に引き続き、「かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業負担金対象事業（神奈川県福祉部生活援護課との協働事業）」の委託を受け、「かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク（かなこんネット）」の幹事団体として年間を通して活動を行った。今年が 3 年目の最終年であり、ネットワークの全体事業内容は以下の通りである。

※運営体制：【全体事務局】一般社団法人インクルージョンネットかながわ

【川崎地域事務局】認定 NPO 法人フリースペースたまりば

【県西・県央地域事務局】特定非営利活動法人子どもと生活文化協会

- ・事業 1：地域資源の開拓調査

全体事務局を中心に、昨年度に制作した「かながわ生活応援サイト」の紹介パンフレット約 4000 部を配布し、応援サイトの周知を図った。配布先は県内の市区町村（県生活援護課から配布）、

県内市区町村社協（県社会福祉協議会から配布）、かながわ生活応援サイト掲載団体・機関（かなこネットから配布）。また、「事業2研修&ネットワーク会議の開催」予定地の自治体関連部署・関係機関、民間団体に対して、開催協力の依頼や打ち合わせを兼ねて訪問した。

・事業2：研修&ネットワーク会議

毎月、県生活援護課とネットワーク幹事団体が集まり幹事会を開き、一年間の「研修&ネットワーク会議」の企画・運営に関する打合せを行った。

2019年度は、①11月18日には県社協・小田原市・南足柄市の協力を得て小田原市内で「地域における8050問題の支援のあり方を考える～町村部地域における生活困窮者支援～」を開催し、民間61名、行政37名、合計98名が参加した。②1月27日には厚木市・秦野市・秦野市社協の協力を得て「地域に即した生活困窮者への支援～各自治体の取組を知ろう」を開催し、民間59名、行政41名、合計100名が参加した。③3月25日には鎌倉市・逗子市の共催で開催する予定で2月中旬には県内の行政、関係機関、NPO等へ周知も行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日に中止を決定し、周知した。（2020年度に開催することも検討する予定）

・事業3：事例検討会・学習会等の開催

ネットワークに入会している支援団体の学びの場を提供するため、年間を通して学習会を開催した。第1回「困窮者支援と住まいの問題」（6月6日・参加者約31名・会場はかながわ県民センター）、第2回「児童相談所の役割」（7月29日・参加者約27名・会場は小田原市民交流センターUMECO）、第3回「外国人労働者受入の現状と課題」（9月5日・参加者25名・会場はかながわ県民センター）を実施した。第4回目として2020年3月に高校における生活困窮世帯の子どもの支援をテーマに高校教員を講師に学習会を開催する予定で企画を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために3月中の開催は断念した。

・事業4：町村部の生活困窮者支援体制の強化

町村部の自立支援機関である県社会福祉協議会、県、当団体で協議し、まずは11月18日の町村部を対象とした研修・ネットワーク会議を開催した。準備の過程で、町村部の生活困窮者支援について県社協との情報交換、県西部2市8町への訪問等により、情報交換を行い、研修当日には、2市8町の福祉関係者も集まり、町域を越えた連携の必要性などを議論することができた。

※「かわさき生活困窮者自立支援ネットワーク」の立ち上げへの取り組み

川崎においては、川崎市健康福祉局生活保護・自立支援室とNPO法人フリースペースたまりば（かなこネット川崎事務局）などを中心に、「かわさき生活困窮者自立支援ネットワーク」の設立が準備され、10月18日には「NPO法人抱樸」の理事長奥田知志さんを講師に設立記念講演を開催し83名が参加した。その後、本格始動に向けて川崎市が庁内他部署等と調整中であり、2020年度の活動開始を予定している。

【別紙1】

<フリースペースえん>

連続講座

講座名	実施回数	講師	内容
ものづくり ～作って遊ぼう～	月1回	平林浩	ブーメラン、花火、編み機等身の回りにあるものを実際に作り、遊んでみることで物のしくみや科学について学んだ。
演劇講座	月1回	片岡五郎	感情の表現方法や舞台上での観客への見せ方等について演技の基礎を身につけた。
ジャンベを たたこう	月1回	B.B.モフラン	西アフリカの太鼓・ジャンベを楽譜を使わずにリズムワークショップを行ない、また、コンゴの話聞いてアフリカの文化に触れた。
フォルクローレを演 奏しよう	月1回	TOYO 草薙	アンデス地方の民族楽器(チャランゴ・ケーナ・サンポーニャ・ボンポ)を皆で合わせて演奏した。
ケーナ講座	月1回	長岡竜介	南米のたて笛・ケーナで南米の曲から日本の曲など演奏して、ケーナの楽しさを知ると同時に、楽譜の見方なども学んだ。
ジャズダンス	月1回	西崎小恵子	柔軟・ストレッチなどのウォーミングアップをし、みんなで踊りたいダンスを踊ることで、身体全体で表現する楽しさを知った。
ボイス トレーニング	月1回	西崎小恵子	発声練習・リズム練習を行なう中で、自分の音域を知ったり、姿勢で声の出方が変わることを体感しながら、歌いたい曲を歌った。
アート	月1回	有北いく子	色鉛筆やクレヨンを使うだけではなく、指先を使って描いたり、カードやカレンダーを作ったりして、表現の楽しさを知った。
お菓子づくり	月1回	堤彰子	パンや小麦粉中心のおやつを生地から練って、作った。作って食べるだけではなく、食の空間を知り、感じる時間とした。
イタリアン パスタ講座	月1回	小林英紀	ホワイトソース・トマトソースの作り方を基礎から学んだり、包丁の持ち方や切り方など教わったり、料理の楽しさを知った。
歌講座	月1回	桜井純恵	姿勢や腹筋の使い方、口の形等の基礎から、譜面の読み取り方、表現方法を学び、様々な曲を合唱した。
染めもの講座	月1回	松田菊代	いつでも藍染めができるように環境を整え、ハンカチや今まで着ていたTシャツを染め、染め物の楽しさを知った。
青空美容室	年8回	尾松陽太	髪の毛を切ってもらったり、アレンジをしてもらったり、ヘアケアのワンポイントを聞く時間を設けたりして、プロの技に出会った。
ともに生きる	年6回	開発教育協会(DEAR)	最近話題となっている「ヘイト問題」「児童労働」「裁判員制度」等をテーマに、分かりやすい教材を使ったり、ゲストスピーカーから話を聞いたりすることで、より身近な問題であることを知り、「ともに生きる」ことについて考えるワークショップを行なった。
着物の着付け 茶道	年10回	吉田裕子	自分で着物を着られることを目標に、浴衣の着付けをし、博茶のお点前を行なった。誰でも気軽に参加できるように、テーブルで簡単な所作を習いながらお茶を点て、日本の文化に親しんだ。
東日本大震災について考えよう	毎月11日 (平日のみ)		東日本大震災から9年。過去の出来事とするのではなく、「ふるさと」を歌ったり、地震が起きたときにどのような状況になる等の映像を観たりして、みんなで思いを巡らした。また、夢パークやえんの危険な場所や備蓄の場所を確認したりして、自分たちは何ができるかを考え続ける日とした。

単発企画（実施・参加したもの）

実施時期	企画
5月29日	ドイツからこんにちは！（ドイツの視察団と国際交流をしよう）
6月22日	2018年度えん活動報告会
7月1日	韓国のフリースクール花咲学校のメンバーと出会おう
7月2日	みんなで染めよう！藍染の日
7月15日	夢パまつり 2019
7月24日	夢パーク：KUJIROCK 19-summer-Vol.43
8月6日	「74年前の今日、何が起きたのか知ろう！」（映画上映）
9月3日	防災訓練
9月14日	フリースクール・フリースペース・フェスティバル＜フォルクローレ演奏、出店＞ （神奈川県立青少年センター）
10月14日	雑居まつり＜出店＞（世田谷羽根木公園）
10月19日	白梅学園大学大学祭＜フォルクローレ演奏＞（小平市）
10月21日	中川さんとソーパークビンゴをしよう
11月4日	こどもの権利の日イベント「こどもゆめ横丁（子ども商店街）」
11月8日	赤城自然園に行こう
11月18日	みんなで語ろう『子どもの権利』
12月6日	岡本太郎美術館に行こう
12月9日	遠藤さんとクリスマスリースをつくろう
12月19日	大そうじ
12月20日	えんクリスマスパーティー
12月25日	夢パーク クリスマスイベント
1月12日	初夢！新春イベント～もちつき・どんと焼き・書初め・昔遊び～
2月26日	ピンクシャツデー
3月18日	大そうじ
3月19日	春だ！春だ！パーティー（巣立ちの会）

その他の企画

企画	実施回数
おはよう、スタディ！（学習支援）	週2回
きれいにし隊（近隣清掃）	週1回
バースデーパーティー	月1回
畑づくりプロジェクト	通年
吉田さんのお茶と着付けをしてみよう	通年
おやつづくり	随時
ものづくり（藍染め・木工・手芸）	随時
東日本大震災のことをみんなで考えよう	毎月11日（平日のみ）

【別紙2】

<ブリュッケ>

① 定期開催講座

講座名	内 容
パソコン講座	「Word」「Excel」「PowerPoint」のスキル習得講座（講師：藤崎さん）
女子会	悩みや不安を語り合うワーク
サイコロトーク	サイコロの出た目に書かれている題材をそれぞれが語り、みんなで聴き合う
みんなの音楽	一人一人好きな音楽をユーチューブで選び、プロジェクターで映し出してみんなで観賞する。その音楽と本人の出会いや思い出を語り合う。
映画鑑賞	言葉以外で「自分の好きなことを表現するワーク」（お勧めの映画を選び、みんなで観賞し、感想を語り合う。8月は一週間かけて映画祭を開催）
当事者研究会	「自分のこと」、「他者のこと」を考え、語り合うワーク
ラフターデー	一人一人がおすすめの「お笑い」映像をユーチューブで選び、プロジェクターで映し出してみんなで観賞する。その「お笑い」のおすすめポイントをプレゼンしてもらい、それをみんなで聴く。
それぞれの名作を語る会	一人一人の人生の中で出会ったアニメ、漫画、映画、ゲームなど、「自分の一番」をみんなの前で語るワーク
セルフケア&自己評価を高めるための講座	心理職経験のあるスタッフによるコーディネートで、不安や恐れを感じた時にできるセルフケアを学ぶワーク。また、「自己評価」について正しく学ぶワークを行い、自分の評価を低めてしまう癖のある若者たちが、自分を語ることで「あるがままを知る」機会となる。

② 単発講座

実施時期	企 画
7月	・七夕飾り・短冊づくり
8月	・ブリュッケで映画祭3 days
12月	・ブリュッケ大掃除2 days（窓&ブラインド掃除の日、床掃除の日） ・講座「虫歯について」（講師：筒井さん・高津区みまもり支援）
1月	・新春ゲーム大会 ・新春書初め
2月	・節分&恵方巻きづくり ・ソープカービング体験（講師：中川さん）
3月	・ソープカービング体験②（講師：中川さん） ・講座「昔話法廷（裁判員裁判体験）」（講師：畑弁護士）

③ 就労に関するワーク（職場体験・見学等）

毎月開催	就労支援員による「就労支援講座」
単発開催	仕事紹介：事務所移転の作業（株式会社リヤン）
	職場見学：IT企業訪問（株式会社 南旺社：横浜市鶴見区）

④ 若者企画イベント

実施時期	企 画
4月	・明治神宮周辺でお花見&原宿散策
5月	・ボルダリング体験（センター北）
6月	・ボウリング大会（溝の口）
7月	・筋力トレーニング体験（等々力アリーナ） ・BOOK OFFに買い物（川崎港町）
8・9月	・映画祭の開催 ※暑い日が続いたため、外出企画は中止
10月	・ハロウィンパーティー（ブリュッケ）
11月	・鎌倉ハイキング（衣張山～報告寺）
12月	・クリスマスパーティー（ブリュッケ）
1月	・野毛山動物園散策（桜木町）
2月	・ボウリング大会（溝の口）
3月	・新型コロナの問題もあり、花見企画は中止

⑤ その他（毎月開催）

誕生日会	誕生月の若者が「食べたいケーキ」を選び、みんなで作ってお祝いをする会
手作業の日	月1回。ブリュッケで様々な物づくりを体験（ガラス絵具アート、プラバンキーホルダー、ガラススタイル製フォトフレーム、プラモデル作り、ビーズストラップ）
お菓子づくりの日	月1回。みんなでお菓子づくり体験（桜餅、いちご大福、大福、ほうじ茶スイーツ、アイスクリーム、十五夜うさぎまんじゅう、リンゴパン、モンブラン、いきなり団子、チョコホットケーキ、味噌まんじゅう）

【別紙3】

<取材一覧>

●子ども夢パーク広報活動及び冒険遊び場、子育てに関する広報・啓発活動

1	通年	川崎市子ども夢パーク HP	HP	イベント情報
2	通年	川崎市生涯学習財団 HP	HP	イベント情報
3	通年	NPO 法人フリースペースたまりば HP	HP	イベント情報
4	通年	まぐたまチラシギャラリー HP	HP	イベント情報
5	通年	子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」HP	HP	夢パーク紹介
6	4月	タウンニュース 4/5号	情報誌	イベント情報
7	4月	イツコム「地モトNEWS」4/6	テレビ	イベント情報
8	4月	ぱど 4/12号	情報誌	イベント情報
9	4月	タウンニュース 4/26号	情報誌	イベント情報
10	5月	レッツエンジョイ東京 夏休み特集	WEB	イベント情報
11	6月	タウンニュース 6/14号	情報誌	イベント情報
12	6月	(株)リクルート じゃらん 家族旅行2019	雑誌	夢パーク紹介
13	7月	子育て情報ガイド「ホッとこそだて・たかつ」	小冊子	夢パーク紹介
14	7月	かわさきFM 「かわさき ホット☆スタジオ」 7/1	ラジオ	イベント情報
15	7月	市政だより 7/1号	市政 だより	イベント情報
16	7月	かわさきFM 7/4	ラジオ	イベント情報
17	7月	東京新聞TODAY 「泥だらけになって遊び尽くそう！」 7/5	新聞	イベント情報
18	7月	神奈川新聞 7/11	新聞	イベント情報
19	7月	ラジオ日本「かわさき foryou」 7/12	ラジオ	イベント情報
20	7月	イツコム「地モトNEWS」information 7/12	テレビ	イベント情報
21	7月	東京新聞「泥んこになって遊ぼう！」 7/14	新聞	イベント情報
22	7月	イツコム「地モトNEWS」7/25	テレビ	イベント紹介
23	7月	(株)リクルート 「SUMO 個性派パーク 神奈川8選」	テレビ	イベント情報
24	7月	HONDA じゃらん SUMMER	情報誌	夢パーク紹介
25	7月	タウンニュース 7/26号	情報誌	イベント記事
26	7月	かわさき発見! スタンプラリー	WEB	夢パーク紹介
27	9月	UR都市機構「住まいリポート」 地域紹介	WEB	夢パーク紹介
28	9月	イツコム「地モトNEWS」番組用CM	テレビ	イベント風景

29	10月	Stage Up 230号 施設めぐり	広報誌	夢パーク紹介
30	10月	かわさきFM 10/3	ラジオ	イベント情報
31	10月	かわさき図書館だより 50号 10/1	広報誌	イベント記事
32	10月	東京新聞 TODAY 11/1	新聞	イベント紹介
33	11月	東京新聞 11/3	新聞	イベント紹介
34	11月	メディスタくらしの窓新聞社 「メディ・あさお」 12月号	情報誌	夢パーク紹介
35	12月	ぱど 12/27号	情報誌	イベント情報
36	12月	神奈川新聞『家族交流で新春満喫』 12/28	新聞	イベント情報
37	1月	ライフコーディネーター 「溝のロリーフレット」	情報誌	夢パーク紹介
38	1月	イツコム「地モトNEWS」1/8	テレビ	イベント放送
39	2月	イツコム「地モトNEWS」2/20	テレビ	イベント放送
40	2月	昭文社 マップル家族でおでかけ関東周辺	雑誌	夢パーク紹介
41	2月	川崎市観光ガイドブック「川崎日和り2020」	小冊子	夢パーク紹介
42	3月	川崎市教職員組合「子ども新聞」	広報誌	夢パーク紹介
43	3月	NHK 総合 おはよう日本「一斉休校行き場所が少ない 中—スタッフ見守る遊び場—」	テレビ	夢パーク紹介
44	3月	イツコム「地モトNEWS」3/28	テレビ	夢パーク紹介

●フリースペースえん広報活動及び不登校問題等に関する広報・啓発活動				
1	6月	NHK 首都圏ネットワーク 6/4	テレビ	不登校・えん紹介
2	6月	NHK ニュース7 6/4	テレビ	不登校・えん紹介
3	8月	パルシステム『のんびる』 「子どもが安心して「助けて」とつぶやける場を」2019 年8月号	広報誌 WEB	不登校・えん紹介
4	8月	NHK 総合 あさいチ「夏休みあけに増える不登校 経 験者が語るつらさ」 8/22	テレビ	不登校・えん紹介
5	8月	NHK 甲府 News かいどき 8/23	テレビ	不登校・えん紹介
6	8月	TVK News Link 「夏休み明けに学校外の新たな居場 所」 8/28	テレビ	不登校・えん紹介
7	8月	NHKE テレ ウワサの保護者会「学校に行かない!～子 どもたちの思い～」 8/31	テレビ	不登校・えん紹介
8	9月	NHK 総合 あさいチ「夏休み明けの不登校～反響編～」 9/4	テレビ	不登校・えん紹介
9	9月	NHKE テレ ウワサの保護者会 8/31 の再放送	テレビ	不登校・えん紹介
10	9月	東京新聞『本音のコラム 前川喜平「フリースペース えん」』 9/8	新聞	不登校・えん紹介

11	10月	フジテレビ フューチャーランナーズ～17の未来～ 『前編：生きる力を高める子供の遊び』 10/30	テレビ	不登校・えん紹介
12	11月	タウンニュース『つながりの有難さ』痛感』 11/1	情報誌	不登校・えん紹介
13	11月	フジテレビ フューチャーランナーズ～17の未来～ 『後編：不登校の子供たちの居場所』 11/6	テレビ	不登校・えん紹介
14	12月	毎日新聞『僕の声聞いてほしい』』 12/5	新聞	不登校・えん紹介
15	12月	神奈川新聞『「学校以外の選択肢を」子ども・居場所 づくりシンポで振り返る』 12/23	新聞	不登校・えん紹介
16	1月	神奈川新聞『孤立させず連帯を』 1/29	新聞	居場所について
17	1月	神奈川新聞『「最幸のまち」実現を』 1/30	新聞	居場所について
18	2月	東京新聞 TODAY『「個性のかたまり爆発ばーん」たまり ばフェスティバル』 2/7	新聞	不登校・えん紹介 イベント情報
19	2月	東京新聞『子どもの居場所 検証を』 2/20	新聞	不登校・えん紹介
20	3月	NHK ラジオ第2『社会福祉セミナー「福祉と私」』 3/21	ラジオ	居場所について
21	3月	神奈川新聞『集いの場 こんな時こそ』 3/23	新聞	居場所について